

おうち療養情報紙

もっと安心

ずっと流山



第1号

発行 流山市

お問い合わせ：流山市役所健康福祉部介護支援課
〒270-0192 流山市平和台1丁目1番地の1
TEL 04-7150-6531 FAX 04-7159-5055



もっと安心 ずっと流山・・・

加齢とともに誰もがかかる可能性がある「がん」や「認知症」など・・・。「医療や介護が必要になっても安心・自分らしく暮らせる流山」、それがかなうよう流山市は地域全体で医療や介護が必要な方を総合的に支えるためのしくみづくりを目指します。

医療や介護が必要になった時にも自宅で暮らし続けることができること、また、認知症になっても地域での支え合いがあれば、本人らしく暮らし続けられることができること・・・。そのことを皆様に知っていただくために、この広報紙を発行しました。

そして、住み慣れた自宅で医療や介護を受けながら、自分らしく暮らし続けることを、流山市医師会大津先生のご提案で「おうち療養」と名付けました。今後もおうち療養情報紙として、この広報紙を継続して発行していきます。

在宅療養支援医師
流山市医師会 戸倉 直実先生
からのメッセージ



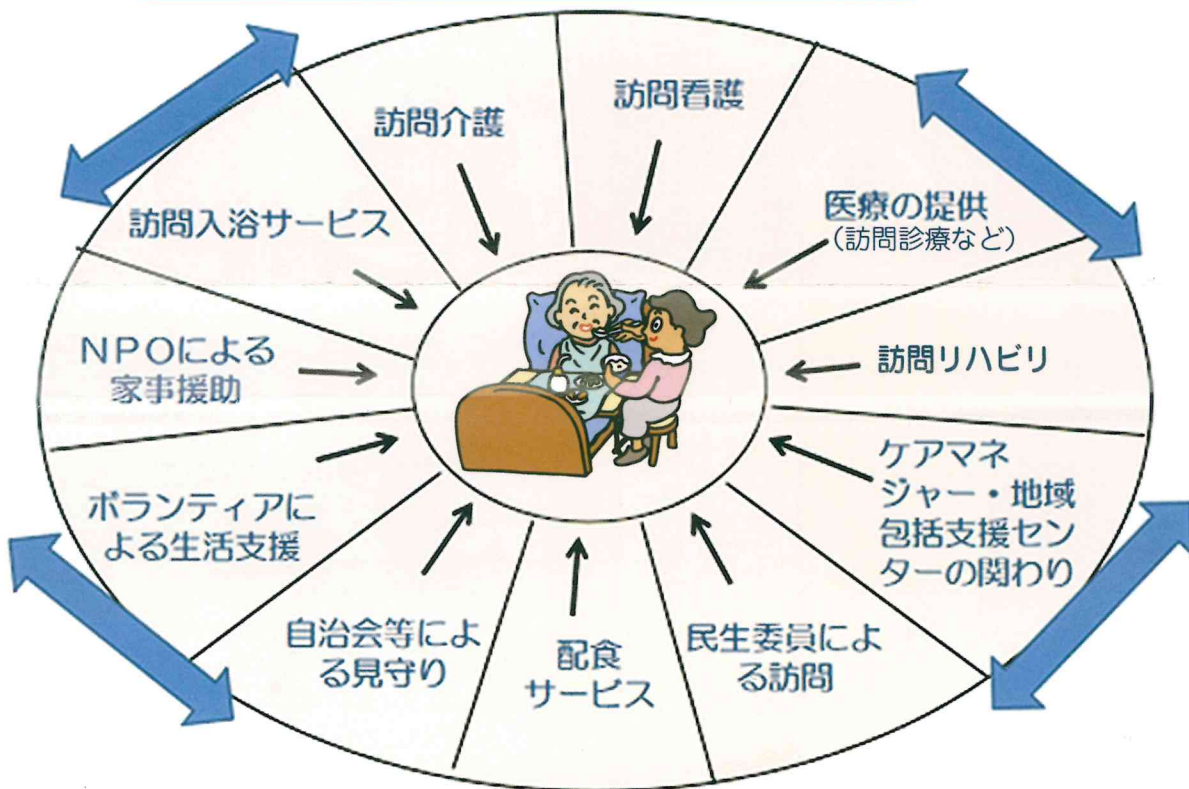
21世紀の初め、医療は病院が優れていると考えられていました。その医療は、病気を見つけて治すことでした。現在でも病院医療が重要なことは言うまでもありませんが、高血圧・糖尿病・認知症などの治療を継続しなければならない病気の方が増加しています。外来通院が困難になった時、医療の出前をします。「誰でもいつでもどこでも」適切な医療を受けられるようにするためです。

総合的な医療知識を持ち地域で連携している在宅かかりつけ医が訪問診療(※)を行います。

最期まで自宅で暮らしたいけれど、家族に迷惑をかけたくないと考えている方が殆どです。在宅医療は緩和ケアも提供します。痛みや苦しみを軽減し、介護サービスを利用することで、独りでも、家族が遠方にいても、自宅で過ごすことを共に考えます。

※訪問診療：自宅または自宅にかわる施設で行われる在宅医療

地域で支えあいの輪を広げよう！ ～互いに連携して、ご本人をチームで支えます～



在宅療養支援医師
流山市医師会 大津 直之先生
からのメッセージ



生まれながらに治らない、あるいは治せない病気や身体の不自由を抱えている方々、あるいは、元気で生まれてこられたのに、何年か何十年後かに治らない、あるいは治せない病気や身体の不自由を抱えてしまわれた方々、どのようにお暮らしてでしょうか。

お医者さんは診てくれますか。もしお医者さんが診てくれないならば、流山市に相談してください。

そのような方々にお医者さんがかかわることによって、少しでも生活が楽にできるようにお手伝いできるのではないかと思います。



訪問診療(往診)ってどんなことをするの？

～在宅療養支援医師の1日を大津先生に密着取材！

9:50 クリニック出発
休診日に毎週、通院困難な方へ往診に出かけています。



10:00 1件目
Aさん宅到着

診察を行い、介護者である奥様の話を聞き、自宅での療養の様子や、本人の体の動きの様子を聞き、指導しました。

10:30 2件目
Bさん宅到着

診察を行い、歩行器を使用している歩き方、体の動きの確認を行いました。



先生の往診に終始笑顔のご本人。「(往診は)いいよね。いつも感謝だよね。」

往診場面では、先生は終始、家族、本人の話をよく聞きます。

午後再び往診に出発！



11:15 3件目 Cさん宅到着

診察を行い、ご本人は認知症があるため、介護者の話をよく聞き相談にのりました。介護者自身の病気の相談を受けたり、同席したケアマネジャーと介護の打ち合わせを行ったりしました。

往診医ならではのかわり方

往診医の役割はいろいろありますが、病気そのものを治すのではなく、症状を緩和しながら、在宅での生活の質を上げていくことが大きな一つの役割です。